



世界自然遺産・知床の日記念行事

しれとこ大百科



日時 令和6年1月30日(火) 14:30~16:30

場所 ホテルライフオート札幌 2階「ライフオートホール」
(札幌市中央区南10条西1丁目)

プログラム

14:30 表彰式・記念撮影
「未来へつなぐ!北国のいきもの守りたい賞」

14:50 受賞者活動発表

15:25 講演 写真家 石川 直樹 氏
「知床半島 あるくみる きく」



参加申込・お問い合わせ先 北海道環境生活部自然環境局自然環境課
Tel : 011-204-5204
Mail : kansei.shizen1@pref.hokkaido.lg.jp



参加無料
(要申込)

※先着100名



道民カレッジ単位認定講座

共催：北海道立生涯学習推進センター・(公財)北海道生涯学習協会・斜里町・斜里町教育委員会
羅臼町・羅臼町教育委員会・公立学校共済組合札幌宿泊所(ホテルライフオート札幌)

講師プロフィール

1977年東京都渋谷区生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。2017年『知床半島』（北海道新聞社）など。



「世界自然遺産・知床の日」とは？

知床の価値について、改めて考える日

知床は、北半球において流水が接岸する南限であり、この流水の影響を受けた海と陸の生態系の豊かなつながりが高く評価されて、世界自然遺産に登録されました。

このため、道では、遺産登録年（平成17年）の知床における流水接岸初日の1月30日を「知床の日」としました。

未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞 受賞者紹介

「未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞」とは、道内で生物多様性の保全等に関し、優れた活動・模範的な活動を行う企業、団体等を表彰するものです。

トヨタ自動車株式会社士別試験場

士別多様な生きもの共生プロジェクト

試験場内において、次の3つの取組みを実施している。

- ① 重要種の保全（エゾサンショウウオのモニタリング調査や卵の捕食を防ぐためのネット設置など）
- ② 外来種の防除（特定外来生物アライグマの生息状況調査及びその結果に基づいた罠の設置など）
- ③ 地域連携イベント（士別市立博物館と連携した地域住民参加型イベントの開催）



萩原建設工業株式会社

機関庫の川におけるウチダザリガニの防除

十勝川水系売買川支流機関庫の川に特定外来生物ウチダザリガニが生息していることを確認し、平成21年（2009年）からウチダザリガニの捕獲・処分・啓発活動を行っている。

活動に当たっては、帯広市の学芸員や環境省の自然保護官などから技術面の指導や協力を受け、社員にて捕獲・測定・処分を行い、時には地元の高校とも協力しながら実施している。



札幌南ふゆみずたんぼの会

ふゆみずたんぼで生き物しらべ

ふゆみずたんぼ（冬期湛水田）において親子や地域の小学校児童、学童保育所などを対象に田んぼ体験やレクチャー、アクティビティを実施し、生物多様性等を楽しく学ぶことができる機会を提供している。

田んぼ体験においては、田植えや稲刈り、新米試食などの稲作に加え、納豆づくりやしめ飾りづくり、生き物調べを実施し、文化・伝統や生物多様性に触れることができるものとしている。

